

# 導入事例

Case Study

## 株式会社ドウ・ハウス

組織拡大による PBX のリプレースで IP-PBX 「Primus」 を導入

～回線コスト 40% 削減・保守費用 100 万円削減～

ご担当者：総務部 今泉様

### 導入企業様の概要

社名：株式会社ドウ・ハウス  
所在地：東京都港区新橋 6-20-2  
代表者：代表取締役社長 稲垣 佳伸  
設立：1980 年 7 月 7 日  
資本：676 百万円（資本準備金含む）  
従業員数：131 名（2013 年 10 月）  
お取引企業数：約 500 社  
年間受託プロジェクト数 約 2,500 件  
年間売上：2,200 百万円（2012 年 9 月期）  
事業内容：

- ・クチコミを中心としたプロモーションサービス
- ・定性情報を核としたリサーチサービス
- ・デジタル&ネットワークをフル活用した総合的なマーケティングサービス
- ・他、新時代のマーケティングを支える「多目的多重ネットワーキング」

ホームページ：<http://www.dohouse.co.jp>



### 導入の背景

レガシータイプの PBX を利用していたが、電話機追加や機能追加でコスト高となつたため、リプレースを検討。専門業者しか電話機の追加や障害時の対応が出来ない事がコスト高となる原因でもあった。

既存 PBX では最大 150 台の電話機しか接続できず、人員増加に伴う電話機追加が出来なかつた。また、組織拡大により将来移転する可能性なども踏まえ、自社で作業が完結するシステムを希望。

### 選択のポイント

#### 自社管理が可能な「Primus」に着目

他社 IP-PBX も検討したが、月額利用料などの費用が発生するシステムが多くコスト削減にはならないと判断。その点、Primus はライセンスを買い切りだったため、イニシャル及びランニングコストも抑えられた。

## Primus 導入後のご感想

パーク保留や転送など、以前と遜色なく利用できています。  
電話機追加等の作業が自社内で行う事ができ、電話機追加などの作業費が無くなりました。

最大のコストメリットは電話回線費用です。  
Primus が直収可能という事もあり、ひかり電話に移行し、月額の回線コストが 40% 削減となり、保守費用など運用費も抑えてトータルコストを低減化することが出来ました。

電話機の増設や設定変更の際、毎回保守業者に依頼せず自社で行うことができるようになり、これによって保守コストを年間 100 万円程削減できました。

## 利用構成

ビル内の階層ごとに設定や運用を分け、電話機、全 160 台をワンサーバーで運用。

## お問い合わせ

<WEB サイトからのお問い合わせ>

<http://www.andone.co.jp/contact/>

<自動見積もり> フォームに必要席数などの情報を入力するだけで価格を確認いただけます。

<http://www.andone.co.jp/primus/estimate/>

<電話・メールによるお問い合わせ>

電話 : 03-5774-1660 Mail : and1-contact@andone.co.jp (担当 : 山崎)

※Primus は、株式会社 and One の商標または登録商標です。

※ひかり電話は、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

※その他、記載された会社名および製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

## 株式会社 and One 概要

会 社 名 : 株式会社 and One

設 立 : 2010 年 8 月 25 日

所 在 地 : 〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 1-17-8 松岡渋谷ビル 4 階

代 表 者 : 代表取締役社長 中村 恵夫

資 本 金 : 2,500 万円

主 要 株 主 : 日本エンタープライズ株式会社 (コード番号:4829 東証二部)